

(別紙2 - 1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 10月 24日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270104989		
法人名	ラッキー自動車株式会社		
事業所名	グループホーム 陽光の家		
所在地	長崎市三川町 924-5		
自己評価作成日	H24年10月23日	評価結果市町受理日	H24年11月26日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階
訪問調査日	H24年10月30日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

リハビリ運動やレクリエーションで身体機能を維持させるための運動を楽しいものにしていきます。誕生会、年間行事を充実し職員と共に楽しんだり喜び合っている。又、地域との交流を大事に助けられたり助けたりの関係である。月1回の生活の様子を伝える写真を添付した「ひかり通信」を発行し暮らしがわかるようにして家族に喜ばれています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当該事業所は、利用者の老人会との関係継続を維持しながら、ゆったりと過ごせる「我が家」の雰囲気である。管理者は市の支援事業で認知グループホーム連絡協議会の研修立案の担当を受け持ち、職員の電話の対応で窺うことができ、接遇等のケアの向上にむけて努力されている。他の事業所との交流・内部研修・職場環境の人的配置においても、週3回の環境整備・調理担当職員と職員がケアに専念できる状況を確認されている。職員の離職で苦慮された時期もあったが、新人職員との協力関係の構築と更にケアの質の向上に尽力されている。新たな職員とのチームワークにより、利用者の穏やかな生活が維持され、家族の安心にも繋がっている。今後、家族会の代表選考も考慮されている。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	実践に繋がるよう努力している	職員は理念をしっかり意識している。利用者の尊厳を重んじてありのままの生活をゆったりと支援する姿勢を持って、実践されている。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加や老人会入会、自治会参加等通じて交流を図っている	利用者のゆとりある生活ができる「我が家」として、職員の支援を得ながら、近隣の方との関わりや老人会の日帰り旅行に職員と共に参加されている。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会や老人会等の行事への参加や運営委員会にも自治会役員や民生委員の参加を得て交流を持ち理解と支援を得ている		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの活動報告や現状報告を行ったり、独自の議題を決め意見交換を行っている率直な意見を出していただきサービス向上に繋がっている	会議は2ヶ月を目途に実施されている。今年度参加者の拡大を考慮して取り組まれたが、思うような意見の傾聴に繋がっていない状況を苦慮されている。	会議の充実をはかり、防災・衛生管理等利用者の家族や多方面の方へ声かけに努めて、ケアに反映できる情報の収集に期待したい。
5	4	<b>市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	質問や相談はすこやか支援課などに随時電話相談や問い合わせを行い協力・支援を頂いている。市や協議会の研修にも参加している	支援事業として認知症グループホーム連絡協議会のCグループで研修の立案担当を受け持ち、参加事業所と介護困難事例検討及び意見交換の交流に繋がっている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>時々言葉による拘束「だめよ」などの声が聴かれるがその都度の注意、指導を行い理解を深めるよう努めている</p>	<p>職員は接遇の研修を受けられており、言葉使いに留意しながら利用者の側で声かけをして、納得して頂ける様に自覚を持って取り組まれている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会など通じて理解できるようにしている、日常でも気付いた事はその都度注意を行う要している</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>今のところ対応者はいないが、研修等で学んで理解出来る様していく</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時及び改定時などは利用者及び家族に理解出来る様に十分に説明を行い納得を得ている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホームを訪問された時など、相談や問題があれば話し合いを行っている、家族会も年2回開催し率直な意見を出して頂き協議を行い運営に反映している</p>	<p>家族との信頼関係の構築に努めて「ひかり通信」で状況を報告されている。通院・外出等家族の協力も得られている。今後、家族会代表の選考を考慮されている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のミーティング及び朝の申し送り時意見や提案を受け運営に反映している</p>	<p>勤務後の研修も積極的に参加して、他の事業所との交流とケアの質の向上に努められている。職員相互にケアの気づきを学びあいながら、取り組まれている。</p>	

12	<p><b>就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>残業には手当をつけている、正社員が少なく職場環境は不規則でよい環境とは言いがたいが、明るく向上心を持って働けるよう努力している</p>		
13	<p><b>職員を育てる取組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的な研修を受けたり、施設内でも指導、説明など行い少しでも介護力の向上に取り組んでいる</p>		
14	<p><b>同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>GH連絡協議会などの研修会へ参加し他施設との交流、勉強会など定期的実践参加し質の向上に努めている</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所時の不安や動揺など其々で違いはあるが、できることとできないこと等ははっきりお話しして要望が少しでも出来る様に家族とも話しを安心して頂いている</p>		
16	<p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居申し込み時にお話を聞きどんな風に過ごすことがお互いが安心して生活できるのかなど要望等と共に決まりごとなどお話ししている</p>		
17	<p><b>初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>管理者とケアマネジャーは、面接や家族からの話をお伺いし問題点、サービス利用の是非も含めて必要な支援かを考慮し対応している</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>できる事は手伝って頂いたりしながら、自立した生活が出来る様に声かけや誘導等行っている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時などに家族からお話を聞いたりしながら、共にいい方向で穏やかな気持ちで過ごせるようにと心がけて今はコミュニケーションも取れている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族とも相談してできる限り本人の意向が大切に出来る様にと心がけている</p>	<p>家族の協力のもとコンサートの鑑賞や自宅に帰省したり、できるかぎり関係が途切れない様に言葉かけの支援を心掛けられている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>軽度から重度まで其々にあった対応を心がけ、お互いが相手を尊重出来る様な声かけなどを行っている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後も病院へ見舞いをし家族とも連絡を取りながら相談ごとなど支援できる範囲でつながりを大切に考え支援している。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>十分に理解できていない部分もまだあるが、本人との会話や家族との会話、スタッフからの情報等通じて把握できるように努めている</p>	<p>利用者一人ひとりの思いにそった支援を心掛けて、散歩に同行したり、飲み物を提供したり、利用者に寄り添い意向の把握に努められている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族やスタッフ、本人との会話等で把握出来る様に努めている</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>生活パターンや疾病の状態、家族関係等その都度情報を得ながら把握できるようにしている</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>面会時など家族とお話させていただいたりしながら、意見をお伺いするようにしている、スタッフには目標達成に関して介護面での意見等ミーティング等で話し合っている</p>	<p>職員の意見も伺い、ケアマネジャーが利用者の状況に応じて、見直しの期間と変化の場合は随時の作成をされている。また評価後は、次の計画に繋がられており、家族に説明をして確認も得られている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケア状態の記録の記入方法等、誰が見ても休みであっても見れば理解出来る様にわかりやすく明確に記載し情報の共有化が図れるように図り、計画の見直し等に活かせるように心がけている</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族がこられた時は、食事を一緒にして頂いたり、面会時間は設定せず、何時でもゆっくり過ごして頂ける様に配慮している</p>		

29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ふれあいセンターや公民館が地域資源としてあり、イベントや散歩の時立ち寄り地域での生活を楽しんでいる。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>個々の希望に沿ってかかりつけ医への受診や往診等をして頂いている、スタッフが付き添いを行う等して日頃の状態報告等出来る様にしている</p>	<p>歯科医師の訪問検診にて利用者の治療へ繋がり、日々の徹底した口腔ケア、口腔リハによりミキサー食にならない様、連携を持って支援されている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師のスタッフは居ないが、居宅療養管理指導を受け、入居者の状態を知っている看護師に相談をしながら健康管理をしている</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時アセスメント、基本情報を提出、相互に連絡を取り必要に応じてケア会議も参加し、安心して退院出来る様支援を行っている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期になった場合、医師の指導、家族の意向を伺い合意の下支援策を講じている、又地域医療を担っている医師にも相談等を行いながら支援している</p>	<p>看取りの経緯はなく看護体制も整っていないが、家族の意向と医師の判断を伺い、どこまで支援できるか、退院後の穏やかな生活を支援できるように配慮されている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>主治医・家族・管理者への連絡体制の確認や勉強会など通じて応急処置の方法等勉強を行っている、急変等があればその都度指導を行っている</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>非常食完備したり避難訓練等を通じて安全に避難誘導が出来る様に定期的に確認訓練を行っている</p>	<p>年2回消防設備の点検も兼ねて誘導訓練等を実施され、スプリンクラーの設置や地域の協力要請もされている。災害時の避難場所確保にも苦慮されている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であり多くの経験等されていることを理解しながら、声かけするように心がけている、が時々ぞんざいな声かけをするスタッフもいてその都度注意し反省を促すようにしている	ケアにおいて、接遇の研修での学びを日々の実践で職員相互に留意して取り組まれている。排泄等利用者への声かけも周りの方へ配慮して、誘導を心掛けられている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	心身に危険が及ばない限りは、ご本人の意思を出来る限り尊重したり、希望に沿うように努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな決まりごとは団体生活に必要な事もあるが、基本的には一人ひとりのペースを把握しながら、誘導等の声かけを行っている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洗濯された清潔な衣服を着ていただき何時も気持ちよく過ごして頂ける様にしている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	能力に応じた下ごしらえをお願いしたり、食器洗いや洗濯物たたみ等一緒に行っている	毎月1・15日はお赤飯と決め「食」の楽しみを提供されている。旬を感じられる献立で「おいしかったよ」と満足な表情が窺え、また片付け等に参加される。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量、水分チェックなど毎食行い、その日の状態に応じて定時以外にも勧めて飲んで頂く等行っている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、誘導声かけを行い実施している、必要に応じ家族の了解の得て訪問歯科の受診を受けている		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>誘導声かけなど食事前後に行う等しており、トイレでの排泄自立が行えている</p>	<p>排泄チェック表のもと便秘予防・失禁に留意して、排泄誘導を支援されている。布パンツにパット等の使用や清拭の実施で清潔保持に努められている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>服薬だけに頼ることなく、飲食や運動等でも工夫をしながら自然排便が出来る様に個々に合った働きかけを行っている</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>個別に希望道理には行ってないが隔日の入浴を午後から行っている</p>	<p>入浴拒否があれば無理強いをせず、気分よく入浴を楽しんで頂ける様に声かけを配慮されている。また、週3回の入浴で清潔保持に努められている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>眠れない時はリビングでしばらく過ごしたりされ部屋に戻られ休まれたり、冷暖房調整等行い休めるようにしている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬内容の把握や副作用など注意しながら行っている、状態変化にも気をつけ見逃さないように心がけている</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>行事などを取り入れ外出の機会を増やしたり家族との外出等家族の協力も得ながら行えている</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>その日の希望には対応困難であるが事前の相談や計画等は出来る限り希望を聞いて沿う事が出来る様に努めている</p>	<p>年間行事に沿って、初詣・花観賞等外出支援をされている。家族の協力で外食の機会もある。今後は、一人ひとりの希望に沿った外出を考慮されている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族より預かり金としてお預りしており必要時は出せるようにしている</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族への電話など希望があればできるように対応している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>手狭ではあるが落ち着いたお気持ちで過ごされている、狭いが庭には季節の花や野菜等作って取り入れなども一緒に行っている</p>	<p>来客や調理の様子等の日常の変化を感じ取れる共用空間となっており、職員と語り合いながらソファで寛ぎ、テレビを観賞して穏やかな空間で過ごされている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>決まった場所を其々が確保され比較的自由に過ごされている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の協力等で使い慣れた物を用意して頂くなど落ち着けるようにしている</p>	<p>整理整頓された居室で、食後に身だしなみを整え寛がれている。テレビも持参され部屋の換気・掃除も気配りができている。</p>	

55	一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全の確保と共に自立した生活が出来る様に工夫している		
----	--	----------------------------	--	--

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない

58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
		1, 大いに増えている
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
		1, ほぼ全ての職員が
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
		1, ほぼ全ての利用者が
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
		1, ほぼ全ての家族等が
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない